

令和 6 年度のプロジェクトの進め方（案）

令和6年度の進め方（案）

1 取組経過

令和2年11月
～
令和3年11月

- 特別市制度の法制化に向けた素案を策定し、国及び政党に提言することを目的に議論を行い、多様な大都市制度実現プロジェクト最終報告書をとりまとめ

令和4年4月
～
令和6年3月

- 多様な大都市制度実現に向けた国や政党、国会議員、各種団体等への働きかけなどの機運醸成の手法や機運醸成のため必要な課題について議論
- 第33次地方制度調査会で議論される新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた地方制度のあり方等の諸課題に対する指定都市市長会としての主張をタイムリーに発信

令和6年度の進め方（案）

2 目的

多様な大都市制度実現に向けた国や政党、国会議員、各種団体等への働きかけなどの機運醸成の手法や機運醸成のため必要な課題について議論を行い、具体的な活動を進めるとともに、次期地方制度調査会を見据え、大都市制度のあり方等の諸課題に対する指定都市市長会としての主張をタイムリーに発信する。

3 構成市長

【担当市長】	福田 紀彦	川崎市長		
【副担当市長】	山中 竹春	横浜市長	河村 たかし	名古屋市長
【参加市長】	郡 和子	仙台市長	清水 勇人	さいたま市長
	神谷 俊一	千葉市長	本村 賢太郎	相模原市長
	難波 喬司	静岡市長	中野 祐介	浜松市長
	久元 喜造	神戸市長	大森 雅夫	岡山市長
	松井 一實	広島市長	大西 一史	熊本市長

令和6年度の進め方（案）

4 進め方

(1) 内容

次のような事項について議論を進め、具体的な行動に移していく。

- ◆多様な大都市制度の実現に向けた指定都市が一体となった取組
- ◆効果の高い関係者に対する具体的な働きかけ
- ◆次期地方制度調査会の調査審議事項に大都市制度に関する内容を盛り込むための方策

(2) 進め方

- ◆担当市長、副担当市長からなる幹事会を適宜開催
- ◆取組の内容、働きかけ先等に応じた関係市長による柔軟な戦略調整を実施
- ◆構成市への書面協議等を適宜実施
- ◆事務レベルの協議は、別途作業部会（課長級）を開催して調整

5 調査・研究期間等

- ◆令和6年4月1日～令和8年3月31日
- ◆その結果は市長会議において報告